

〔A類社会コース，B類社会コース 対象〕

小論文 解答例

令和7年度
一般選抜前期

(記述式なので多様な回答が考えられる。)

授業の責任は基本的に教師にある。そのため教師はそうした責任を自覚し、明確な教育のねらいのもとに授業をする必要があるのであって、外部から講師を招聘する際には、教師の教育のねらいを外部の人々とも共有しておく必要がある。外部の講師に丸投げするようなことは避ける必要がある。また、社会科は価値対立が生じる論争的な問題を多く取り扱うという教科の特性があるため、外部から講師を招くにしても、その講師がどのような政治的思想的立場から論じているのか、どういった視座から論じているのかということについて教師は常に自覚する必要がある。また、できれば複眼的な視座を提供できるように複数の講師を招聘できるようにするなど、政治的中立にも配慮する必要がある。